

2025年2月19日

ENEOS株式会社

西日本ジェイアールバス株式会社

日野自動車株式会社

国内初となる合成燃料を使用した万博シャトルバスが走行します！  
～3月27日にラッピングバスお披露目式を開催～

ENEOS株式会社（代表取締役社長 山口 敦治、以下「ENEOS」）、西日本ジェイアールバス株式会社（代表取締役社長 北野 眞、以下「西日本JRバス」）、日野自動車株式会社（代表取締役社長 小木曾 聡、以下「日野自動車」）は、2025年日本国際博覧会（以下、「大阪・関西万博」）開催期間中<sup>※1</sup>に国内初となる<sup>※2</sup>合成燃料<sup>※3</sup>を使用した駅シャトルバス（以下、「万博シャトルバス」）を大阪駅から大阪・関西万博会場間において1日10便<sup>※4</sup>運行しますので、お知らせいたします。

ENEOSは、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（以下、「NEDO」）「グリーンイノベーション基金」のご支援<sup>※5</sup>のもと、2024年9月にENEOSの中央技術研究所内に完成した実証プラント<sup>※6</sup>で製造した合成燃料を万博シャトルバスに提供します。西日本JRバスは、大阪駅（うめきたグリーンプレイスバス駐車場）から大阪・関西万博会場まで直通の万博シャトルバスを運行します。日野自動車は万博シャトルバス運行に向けて、合成燃料と車両やエンジンの適合性を確認し、運行をサポートします。

運行に先立ち、万博シャトルバスのお披露目式を3月27日（木）11時より万博シャトルバス乗り場となる「うめきたグリーンプレイスバス駐車場」にて開催いたします。万博シャトルバスには、独自のラッピングを施し、ご乗車のお客様や走行中に出会う皆様に未来の燃料の魅力を発信していきます。

ENEOS、西日本JRバス、日野自動車の3社は、万博シャトルバスの運行を実現することで、大阪・関西万博来場の方々に、合成燃料が普及する未来を感じていただき、大阪・関西万博が掲げる「EXP02025 グリーンビジョン」の達成に貢献してまいります。

※1 2025年4月13日（日）～10月13日（月）

※2 水素と二酸化炭素から一貫製造した合成燃料を営業車両の運行に使用することは国内初

※3 原料に再生可能エネルギー由来の水素とCO<sub>2</sub>を使用することから、原料製造から製品利用までの製品ライフサイクル全体において、CO<sub>2</sub>排出量を抑えることのできるカーボンニュートラル燃料。

※4 うめきたグリーンプレイスバス駐車場から発着する駅シャトルバス19便のうち10便での運行を予定しています。

※5 CO<sub>2</sub>からの合成燃料製造技術開発が、NEDOの「グリーンイノベーション基金事業／CO<sub>2</sub>等を用いた燃料製造技術開発プロジェクト」に採択。

※6 ENEOSリリース 2024年9月30日公表

[国内初となる原料から一貫製造可能な合成燃料製造実証プラントが完成](#)

【うめきたグリーンプレイスバス駐車場周辺（イメージ図）】



「資料提供：西日本旅客鉄道株式会社」

以上